

IIS NEWS

☆ 第3期日本学術会議会員選挙 ☆

来る12月に行われる日本学術会議会員選挙に際し、本研究所の教授・助教授で、各団体から推薦され候補に立たれた方々は次の通りである。(10月22日現在調)

兼重寛九郎 (全国区 第5部 機械工学)

略 歴

大正12年 東大工学部機械工学科卒業

昭和13年 工学博士

〃 17年 東大教授

〃 21年 学術体制刷新委員会委員長

〃 26年 東大生産技術研究所長

推薦団体 日本機械学会, 日本繊維機械学会

関係学協会 日本機械学会 前会長

科学技術行政協議会委員

福田 武雄 (全国区 第5部 土木工学)

略 歴

大正14年 東大工学部土木工学科卒業

昭和2年 欧米出張(橋梁工学研究)

〃 7年 工学博士

〃 17年 東大教授

〃 27年 万国橋梁会議日本代表(英国出張)

米匡工学百年祭日本代表(米国出張)

推薦団体 土木学会, 日本道路協会

関係学協会 土木学会 前副会長

文部省学術用語審議会副会長

A.S.E.E., A.S.C.E. 会員

学術会議橋梁構造研究連絡委員

科学研究費等配分審査委員

なお、東大工学部関係では次の方々と同じく候補に立られている。(10月22日現在・編集委員会調)

青山秀三郎 (全国区 第5部 鉱山学)

略 歴

大正7年 東大工学部鉱山学科卒業

昭和5年 工学博士, 東大教授

〃 27年 東大工学部長, 東大工学部総合試験所長

昭和24年以降 日本学術会議会員(第5部副部長)

推薦団体 日本鉱業会, 工業火薬協会, 物理探鉱技術協会, 石油技術協会

関係学協会 日本鉱業会及び石油技術協会 前会長, 評議員, 理事

工業火薬協会 評議員

物理探鉱技術協会 委員

大山松次郎 (関東地区 第5部 電気工学)

略 歴

大正8年 東大工学部電気工学科卒業

昭和3年 工学博士

〃 4年 ドイツ留学(2年)

〃 6年 東大教授

〃 23年 電気事業民主化委員会委員長

〃 〃 日本学術会議第1期会員

〃 24年 東大第一工学部長

〃 25年 日本学術会議第2期会員(第5部長)

〃 26年 米国出張(研究教育施設調査)

〃 27年 電力中央研究所理事

推薦団体 電気学会, 電気通信学会, 照明学会, 土木学会, 溶接学会, 溶接協会

関係学協会 電気学会, 照明学会 前会長

小川芳樹 (全国区 第5部 金属工学)

略 歴

大正13年 東大工学部冶金学科卒業

昭和9年 工学博士

〃 17年 東大教授

〃 25年 米国出張(工業教育視察)

推薦団体 日本鉱業会

関係学協会 日本鉱業会 前会長

電気化学協会 副会長

中西不二夫 (全国区 第5部 機械工学)

略 歴

大正9年 東大工学部機械工学科卒業

昭和10年 工学博士, 東大教授

〃 18年 東大航空研究所長(3年)

推薦団体 日本機械学会

関係学協会 日本機械学会 前会長

山県昌夫 (全国区 第5部 造船学)

略 歴

大正10年 東大工学部船舶工学科卒業

昭和12年 工学博士

〃 15年 船舶試験所長

〃 18年 海務院船舶部長, 運輸省船舶局長

〃 19年 船舶試験所長

〃 22年 東大教授

〃 25年 日本学術会議第2期会員

推薦団体 造船協会, 漁船協会, 日本航海学会, 日本造船研究協会, 日本造船工業会, 運輸省運輸技術研究所

関係学協会 造船協会

会長

漁船協会

理事

IIS NEWS

IIS NEWS

☆ 応用力学談話会 ☆

第1部内の応用力学に関係をもつ研究室が主体となつて、5月以来、応用力学談話会を毎週木曜日午後、第1部会議室で開催している。各研究室が輪番で、それぞれの専門に関する総合的な解説及び現在進行しつつある研究の報告を行うと共に当面している問題等について活発な意見の交換が行なわれている。現在すでに行われた主な研究発表は次の通りである。

橋梁の耐力測定結果について	岡本研究室
後退翼の強度について	池田研究室
自動車用の板ばねの応力測定	大井研究室
音速に近い気流の実験的研究	玉木研究室
軸力を受けた棒の横衝撃	森 研究室
塑性異方性と液圧試験	山田研究室
傾斜せる砂地盤の支持力に関する実験	岡本研究室

なお部内外より気軽に参加されるのを歓迎している。

☆ 北九州などの洪水に関する研究 ☆

6月下旬に北九州に、さらに7月下旬には和歌山県などに著しく大きい水害が起こつたので、それについての

自然科学的及び技術的な調査と研究とが、東大、京大、九大、熊本大学、山口大学などの研究者から要請された、その結果この研究所の安芸教授を主とする総合研究が文部省科学研究費の補助によつて行われることになり、この研究所からは主任の他に井口助教授、三木助教授、及び大学院特研究生高橋裕がこれに参加し、筑後川の流出機構及び河状の変化及び堤防の土質について分担研究を行っている。

☆ 菊池教授渡欧後の動靜 ☆

去る9月2日写真の理論・応用に関する国際会議に出席のため空路渡欧した本所菊池真一教授から、ロンドンの会議は9月18日から25日まで開催、開会第1日は、世界23ヶ国から参加しれ約500名の代表を前に、ドイツのグルバー氏、オーストリアのヘルビヒ博士と同教授の3名が祝辞を述べ、その後日程により日本からの6つの論文を報告、英、仏、独語を話す各国代表と自由な討論を行い、最終日には、有名な Savoy Hotel で晩餐会があり、同教授も借用のタキシードを着用、英国写真学会々長シンキンソン氏夫婦と固い握手を交した由、通信があつた。なお帰国は11月17日頃となる予定。

IIS NEWS

生産技術研究所報告 第3巻第6号 予告

(29年1月発行予定)

橘 藤雄著 An Investigation of Cabinet Heaters (対流放熱器の研究)

普通の暖房用放熱器と違つて、やや複雑な放熱機構を有する対流放熱器について理論的な考察を行い実験によつて確かめた。そのほか設計に際して問題になる放熱管の放熱端取付間隔や放熱管の配置の方法について実験を行つた結果について述べている。又放熱管によつては熱伝導性が悪く、コンベクター内に流入する空気速度が増すほど端の温度が低下して放熱能力の低下を来すものがあるが、その種の放熱管を有する対流放熱器の性能についての理論的考察と実験結果を記してある。

次号予告 (12月号)

研究解説

筑後川の洪水——河川研究の一方
法——井口 昌平
鋳物の冷却温度差による鋳造ひずみについて……中村 康治
生コンクリートの側圧について……佐治 泰治

放 行 記

欧州見聞記 (国際土質会議に出席して) ……星 和

座 談 会

塑性加工について語る (学生会館において)
出席者……鈴木 弘・谷 安正・福井伸二・
五弓勇雄・山田嘉昭 (発言順)
(編集委員) 久保慶三郎・安達芳夫

速 報

精密仕上面の酸化について
——黒鉛接触子による金属表面の
電気抵抗の測定——松永 正久
むだ時間のある制御系の根軌跡……高橋 安人

一 講 演 一

◇教授 糸川英夫

- 「米国のヘリコプター工業について」日本ヘリコプター研究会(1953. 6. 18)
- 「米国の民間航空研究」航空局 (6. 23)
- 「米国の音響研究所」日本音響学会 (7. 11)
- 「米国の航空機工業」日本航空学会 (7. 20)
- 「米国の脳波研究」名古屋大学 (7. 26)
- 「米国の Medical Physics」同上 (7. 27)
- 「米国の音響技術」日本楽器株式会社 (7. 28)
- 「車輛用スピード計について」青森管林局 (8. 3)
- 「米国の電子工業」日本無線株式会社 (8. 11)
- 「米国の電子工業」東芝マツダ研究所 (8. 15)
- 「最近の航空工業」ラジオ東京にて放送
- 「Information Theory と脳波研究」岡山, 鳥取, 九州, 長崎, 京都各大学 (8. 17-8. 27)
- 「米国における Medical Physics」同上 (同上)

海外特別講演 by Dr. H. Itokawa

- “On the Depth meter of Anesthesia”
at University of Chicago, Chicago, Illinois, U.S.A.
on April 23rd, 1953.
- “Indication of the Depth of Anesthesia by Electroencephalograph”
at Mayo Clinic, Rochester, Minn. U.S.A.
on May 1st, 1953.
- “Information Theory and Electroencephalograph”
at University of California, San Francisco, Calif.
U.S.A.
on May 28th, 1953.

- ◇助教授 山辺武郎「イオン交換とその応用」高分子学会主催第4回イオン交換樹脂委員会 (1953. 9. 30)
- ◇助手 佐藤正千代他 “Effects of Tensor Forces on the Energy Levels of Light Nuclei (Comment)” 国際理論物理学会議 京大湯川記念館 (1953. 9. 23)
- ◇助教授 浅原照三, 助手 高木行雄「アルキルベンゼンの合成ならびにその構造について」日本油脂化学協会秋季講演会 (1953. 10. 3)

- ◇非常勤講師(工学部教授) 永井彰一郎 石膏石灰研究会に研究発表講演, 名古屋市 (1953. 10. 23~24)
- ◇同上 窯業協会に研究発表講演, 大阪市 (1953. 10. 16~20)
- ◇助教授 鳥飼安生 大学院学生 根岸勝雄「超音波の新しい映像法」日本物理学会 (1953. 10. 19)

一 寄 稿 一

- ◇助手 佐藤正千代他 Tables of Racah Coefficients 東京天文台年報 第2輯 第3巻第3号
- ◇教授 兼重寛九郎「自動制御を志す人々に」日本機械学会誌 56巻417号 (10月) 693頁
- ◇教授 高橋安人「フィードバック制御の意義」同上 694頁
- ◇教授 高橋安人, 目片康男, 加藤 広「糸の含水量の自動制御」同上 755頁
- ◇教授 沢井善三郎「溶接の自動制御」同上 787頁
- ◇助教授 野村民也「電子管式アナログ・コンピュータ」同上 733頁
- ◇助教授 山辺武郎「イオン交換平衡に関する研究(第2報)……陰イオン交換平衡について」工業化学雑誌 645 (同上)
- ◇助教授 浅原照三, 秋田大学助教授 木村 晋「炭化水素の分離に関する研究(第1報)……低沸点炭化水素の含水フェノール処理」同上 56巻 699 (1953. 9)
- ◇助教授 浅原照三, 特研生 後藤健一「金属表面上における有機物質の接触角の研究」金属表面技術協会誌, 4巻 148 (1953. 9)

一 現 地 実 験 一

- ◇教授 藤高周平, 助手 藤田良雄, 三須田善一郎, 簡易閃光点標定器の現場試験; 3 部藤高研究室で試作したF型標定器について, 中部電力長良川発電所において3万ボルト実送電線で人工故障試験を行った。強行送電で不良碍子が閃絡した時, 10アンペア程度の事故電流でも充分成功を収めた。(1953. 10. 3~4)

著 者

- ◇松下幸雄 助教授 専攻 鉄錬製錬工学
- ◇斎藤成文 助教授 専攻 超短波工学・高周波応用
- ◇黒川兼行 大学院特研生 専攻 超短波工学
- ◇安藤良夫 助教授 専攻 熔接工学 船体構造学
- ◇久保田 広 教授 工博 専攻 位相差顕微鏡, 干渉薄膜
- ◇佐藤俊夫 大学院学生 専攻 応用光学

紹 介

- ◇藤高周平 教授 工博 専攻 電力工学・高電圧工学
- ◇麻生忠雄 助手 専攻 高電圧工学
- ◇沢井善三郎 教授 工博 専攻 電力機器・電気制御 熔接工学
- ◇稲葉 博 技官 専攻 電力機器・熔接工学
- ◇糸川英夫 教授 工博 音響工学, 医学物理学

編 集 委 員

- 編集委員長 福 田 武 雄
- 編集委員 ※富 永 五 郎
- 糸 川 英 夫
- 植 村 恒 義
- 橋 藤 雄

編 集 委 員

- 大 島 康 次 郎
- 高 木 昇
- ※斎 藤 成 文
- 山 本 寛
- 江 上 一 郎
- 山 辺 武 郎
- 編 集 委 員 久 保 慶 三 郎
- 勝 田 高 司
- 編 集 幹 事 下 村 潤 二 朗
- 編 集 室 水 野 晴 明
- (※印は当番委員)

本誌の実費頒布をご希望の方は下記へご照会下さい。

千葉市弥生町 1
生産技術研究奨励会
(振替口座東京103697)

第 5 卷 第 11 号 生 産 研 究 (本誌は生産技術研究所の研究紹介誌として、毎月1回発行する)
1953年10月25日 印刷 1953年11月1日 発行

編集者 福 田 武 雄 印刷者 大 藏 省 印 刷 局
発行者 兼 重 寛 九 郎 発行者 東 京 大 学 生 産 技 術 研 究 所
東京都新宿区市ヶ谷本村町
千葉市彌生町 1
電話千葉 3 6 6 - 3 7 0